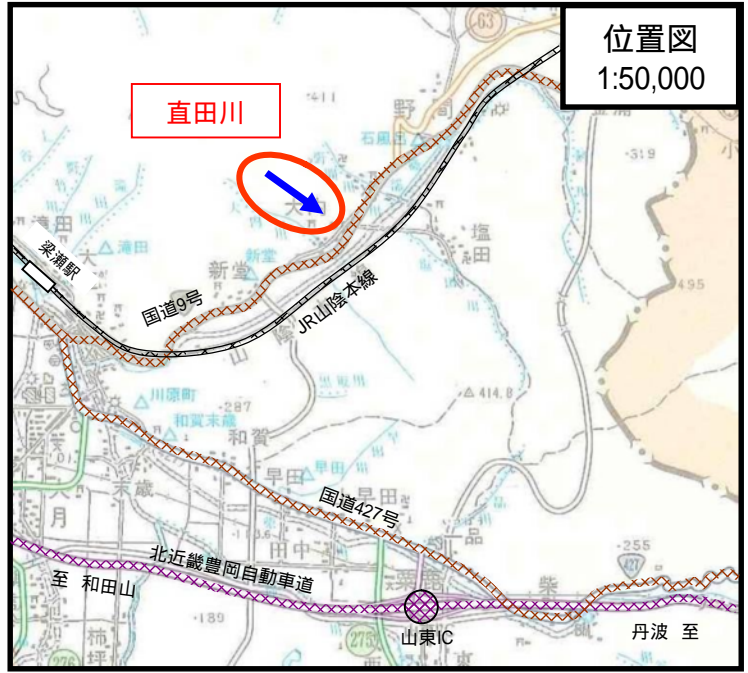


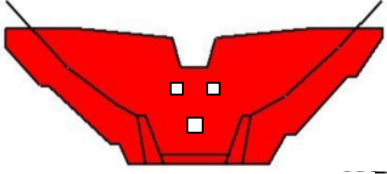
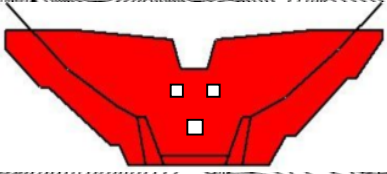
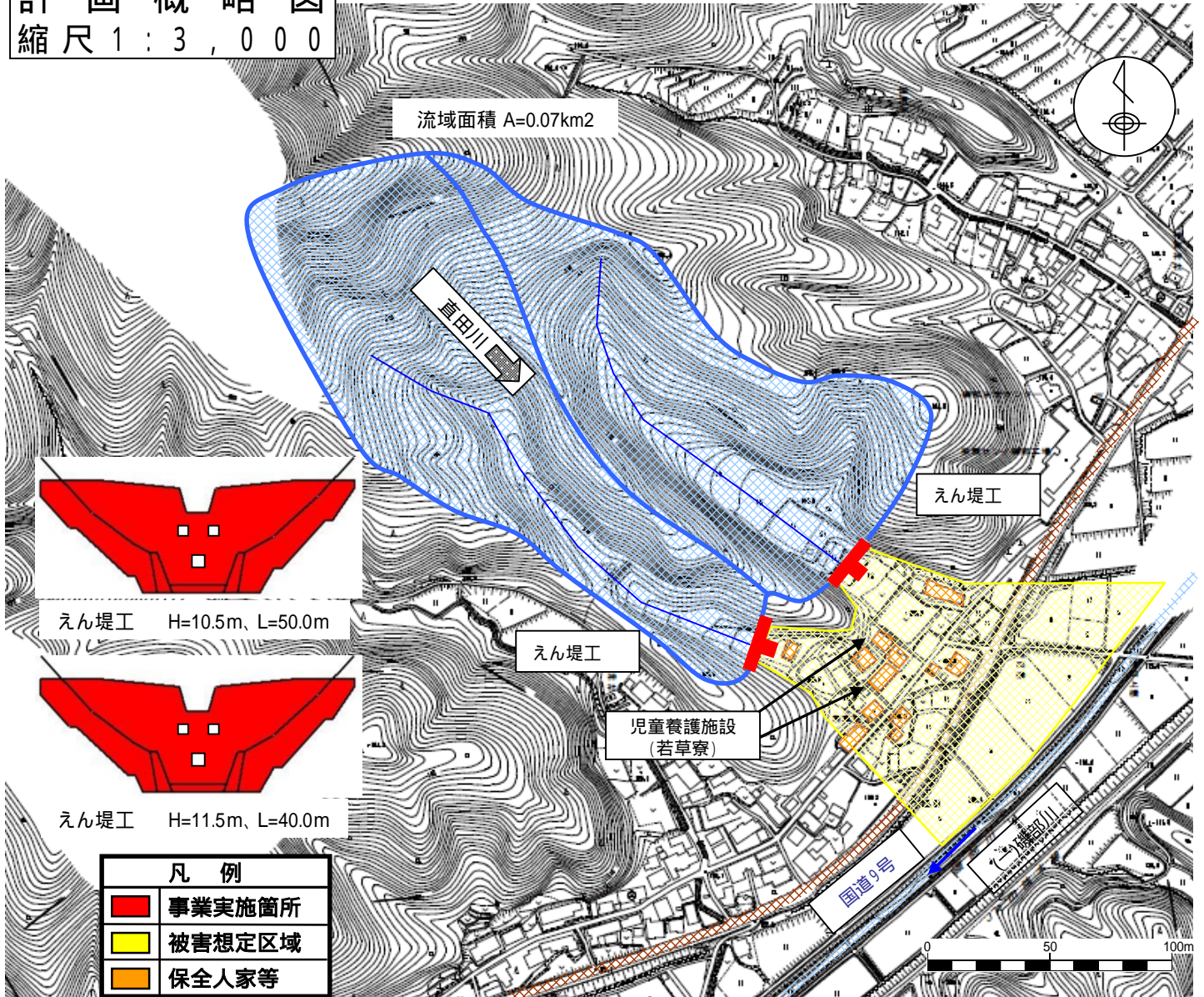
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5億円
		通常砂防事業 すくたがわ 直田川	朝来市 さんとうちょうおおうち 山東町大内	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市山東町大内				H24	H26
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 10.5m, L = 50.0m) (H = 11.5m, L = 40.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系磯部川に流入する土石流危険溪流 ・流域は溪床土砂が厚く堆積しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である児童養護施設があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約2ha(長さ150m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・児童養護施設「若草療」(災害時要援護者関連施設)、人家10戸、国道9号(緊急輸送路)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・施設周辺の道路利用に地元の理解が得られており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・国道からの視認性を考慮し化粧型枠を採用するとともに、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時要援護者関連施設(児童養護施設)や国道といった重要施設が存在することから、早期着手に対する地元・施設からの要望が強い。 以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

すくたがわ
直田川
[朝来市]



計画概略図
縮尺 1 : 3 , 0 0 0



凡 例	
■	事業実施箇所
■	被害想定区域
■	保全人家等